

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
演劇表現演習Ⅱ											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	40	単位	1
担当教員	安奈ゆかり			実務経験	有	職種	俳優・声優				
担当教員紹介											
劇団NLT 所属 日本工学院専門学校 演劇俳優科 卒業 主な出演作品に、舞台：『新・近松心中物語』『仮縫』『ミュージカル 三銃士』ドラマ：『相棒1.6』『5→9～私に恋したお坊さん～』吹替：『砂上の法廷』（ロレッタ〈レネー・ゼルウィガー〉）CM：クレハ【NEWクレクラブ】など。											
授業概要											
自分がより向上するためには何が必要なのか、自分を改めて見つめ直し、細かく苦手意識と弱点に向き合いつつポジティブに授業に取り組めるよう調和を重視しつつ授業をすすめる。											
到達目標											
緊張と自己意識から解放され、表現に対しての幅を広げ、イメージ力を強化し、作品に対して様々なアプローチが出来るようになること。											
授業方法											
基礎から脱し、発声、身体表現などの自分のくせなどにとらわれることなく瞬時に役をつかみ、状況や場面を作ることが出来るよう多種多様な課題に取り組む。											
成績評価方法											
平常点	50%	理由なき遅刻、欠席、授業態度、積極性によって評価する									
課題点	50%	提出物、授業内に行われる課題、実技への取り組み、内容について評価する									
履修上の注意											
この授業では学生間、講師と学生とのコミュニケーションを重視する。様々な考え方、表現を学びつつ、礼儀、挨拶、相手に対するの敬意を払うこと重視する。理由なき遅刻、欠席は認めない。											
教科書教材											
必要に応じ、授業内に台本、映像資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	アフレコ①基本マナー、マイクの使用・イヤホン使用について。										
第2回	アフレコ②映像の見方について。										
第3回	アフレコ③台本の読み取り方、注意点。										
第4回	アフレコ④台本と映像との融合。										
第5回	アフレコ⑤映像人物と自らの役作りについて。										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
演劇表現演習Ⅱ	
第6回	コミュニケーションゲーム①ここまで学んだ事を生かし、いかにコミュニケーションが取れるか。
第7回	コミュニケーションゲーム②ここまで学んだ事を生かし、いかにコミュニケーションが取れるか。
第8回	コミュニケーションゲーム③ここまで学んだ事を生かし、いかにコミュニケーションが取れるか。
第9回	台詞・短編・エチュード①自由に表現する。
第10回	台詞・短編・エチュード②自我を捨て役をつかむ。
第11回	台詞・短編・エチュード③更なるイメージ力、行動力を持ち表現力を磨く。
第12回	後期まとめ①様々な課題に対しての自分のアプローチの度合いを知る。
第13回	後期まとめ②改めての自ら足りない部分の強化。
第14回	後期まとめ③改めての自ら良い部分の認識。
第15回	1年間まとめ②発表、反省、新たなる課題の発見。